



# 米沢小学校

## コミュニティ・スクールだより

令和5年7月25日

本校には、学校と地域と家庭を結ぶ「米沢小学校コミュニティ・スクール」が組織されています。本年度も、米沢小学校の子どもたちのために、学校と地域と家庭が手を携えて支援して参りたいと思います。創立150周年の年に、さらにその繋がりを強くしていきましょう。よろしくお願いいたします。

### 今 学校は何をしている？ 私たちは何ができる？

米沢小学校コミュニティ・スクール学校運営協議会長 吉田 一



コミュニティ・スクール（以後CS）とは、茅野市教育委員会の任命した「学校運営協議会」を設置した学校を言います。茅野市では今年、全小中学校が、学校運営協議会を置く文科省型のCSに変わり、米沢小学校も新しいCSとなります。どう変わるのかは、実際の教育活動の変わり方で追々見えてくるでしょう。小学生のいないご家庭の皆様も、時には学校を覗いてみてください。

今年創立150周年の米沢小学校は、この間ずっと地域とともに歩んで来ましたが、これからも地域の学校として地域と共にある事は変わりません。地域と共に歩むということは、地域が学校を必要とし、そこで学ぶ子どもたちのために地域が援助を惜しまないと言うことです。たまたま委員となった私たちが学校と地域の媒（なかだち）として、微力ながら努力したいと思います。地域の皆様、学校の先生方、どうぞ私たちを使ってください。そして、米沢小学校が、子どもたちだけでなく、先生方、地域の皆様にとっても「明日も来なくなる学校」でありますよう、切に願っています。

### 地域とともに歩む学校へ

学校長 小口 政英



日頃より、本校の教育活動にご支援ご協力をいただきありがとうございます。本年度も、米沢小学校を、子どもたちにとっても、職員にとっても、保護者の方にとっても、そして地域の方にとっても、「明日も来なくなる学校」にしたいなあと考えております。そのためにこれまでもお力添えいただいているコミュニティ・スクールの組織を本年度より少し変え、コミュニティ・スクールの中に「学校運営協議会」を置いて、地域の核となる学校にしていくようご意見やご助言をいただくようにしました。これは文部科学省が進めているコミュニティ・スクールの形です。しかし、今までと大きく変わるわけではありません。これまで同様に、米沢小学校の子どもたちの教育活動に対して地域の方に支援していただいたり、子どもたちが地域に出て地域の一員として活動していきたくていきます。新型コロナウイルス感染症への対応が緩和され、以前のような地域との関わりが可能になってきました。より一層関わりを強め、地域とともに歩む学校にしていきたくて思います。本年度も皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

### 新たにスタートしたコミュニティ・スクール

6月12日に1回目の学校運営協議会を行いました。せっかくの機会なので、授業参観をしていただいたり、給食を食べていただいたりしました。話し合いの中では、委員の方から「学校が願うことは何でも協力していくよ」という心強い言葉をいただきました。「地域にはお年寄りもたくさんいるので、そんな方とも学校がつながるといいですね」というお話もありました。本校のコミュニティ・スクールのモットーは「できる時に できる人が できることを」です。無理なく学校と地域がつながっていくとともに、どんどん地域の方を学校に呼び込み、どんどん地域に出かけていけるような関係を作っていきたいと思っています。（裏面に運営組織図を載せました）

#### ◇令和5年度 米沢小学校コミュニティ・スクール学校運営協議会の皆様◇

- 会長
- 副会長
- 委員
- 委員
- 委員
- 委員
- 委員
- 委員
- 委員
- 委員



読み聞かせボランティア「ぽっかぽか」さんによる毎月の読みきかせ